

3. まとめ

中期経営計画では、施策ごとに成果指標とその目標値を定め事業の進捗管理を図ってきましたが、設定した31の成果指標のうち目標を達成できた指標は22という結果でした。目標に至らなかった成果指標も一部ありますが、計画に掲げた事業は概ね順調に実施できたものと考えております。

将来的な人口減少によって使用料収入の減収が想定される一方で、老朽化が進む施設の改築にかかる費用は今後ますます増加する見込みです。経営環境は厳しさを増すことが見込まれますが、市民の皆さまの安全・安心な暮らしを支える役割を果たせるよう、引き続きアセットマネジメントシステムに基づく効率的・効果的な事業運営に取り組んでまいります。

〈仙台市ホームページもご覧ください〉

この「お知らせ」で紹介した取り組みの他にも取り組み実績をとりまとめています。詳細は、仙台市ホームページに掲載している「仙台市下水道事業中期経営計画総括レポート」をご覧ください。（仙台市ホームページのトップページのサイト内検索から検索できます。）



仙台市煉瓦下水道「杜の都れんが下水洞窟」

左の写真は明治33（1900）年に築造され121年経った今でも現役の煉瓦造りの下水道管で、平成22（2010）年に土木学会選奨土木遺産に認定されました。青葉区西公園C60広場（SL広場）そばの地下に埋設されています。

平成28年11月より見学施設として一般開放してきましたが、令和3年10月現在、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、一般開放は休止しています。仙台市公式動画チャンネル「せんだいTube」にて当施設を紹介する動画を公開していますので、お持ちのスマートフォン等で、下記のQRコードからご覧ください。



パソコンからは

れんが下水洞窟 で 検索

令和3年10月

編集・発行

仙台市建設局下水道経営部経営企画課

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-8509

下水道の今をお知らせします

仙台市下水道事業中期経営計画（平成28年度～令和2年度）

総括レポート

1. 「お知らせ」の目的

下水道は、市民の皆さまが日常生活で使用した水をきれいにする「汚水処理」と、大雨からの被害を軽減する「雨水排除」の2つの役割を持つ重要なライフラインです。

仙台市では、市民の皆さまに安心して下水道をお使いいただけるよう「仙台市下水道事業中期経営計画（平成28年度～令和2年度）」を策定し、事業を進めてきました。この計画では、令和2年度までに達成すべきサービス水準（目標値）を設定し、その達成に向けて事業を着実に進めるとともに、市民の皆さまに事業の現状や課題に対する理解を深めていただくため、毎年度取り組み状況を公表してきました。

この「お知らせ」では、前期中期経営計画期間である平成28年度から令和2年度までの5年間にわたる下水道事業の主な取り組み実績を皆さまにお知らせします。



下水道には、「汚水処理」と「雨水排除」の2つの役割があります。



令和3年度からは新たに策定した中期経営計画（令和3年度～令和7年度）に基づいて事業に取り組んでいます。

2. 前期中期経営計画期間（平成 28 年度～令和 2 年度）の主な取り組み実績

下水道施設の適正な維持管理

汚水管内で木の根が生長して管が詰まったり、老朽化に伴って管が壊れ、道路陥没を起こすことがあります。清掃や点検など適正な維持管理を行っています。

汚水管詰まりの回数			
現状値 (H26)	目標値	H28～R2 平均	評価
628 回	H28～R2 平均で現状値より減少	471 回	◎

陥没件数			
現状値 (H26)	目標値	H28～R2 平均	評価
89 件	H28～R2 平均で現状値より減少	84 回	○



(除去した木の根)



木の根によって汚水管が詰まったので、木の根を除去しました。

浸水対策

浸水被害の軽減に向け、10 年に 1 回程度の大雨（10 年確率降雨）に対応する雨水排水施設の整備を進めています。

10 年確率降雨に対応した雨水排水施設整備率			
現状値 (H26)	目標値	R2 実績	評価
33.5%	R2 で 36.0%	36.2%	○

雨水の流出量を抑制するための施設を公園予定地内に設置しました。



地震対策

地震に強い管路や施設とするため補強工事（耐震化）を進めています。

耐震化率（管路）			
現状値 (H26)	目標値	R2 実績	評価
33.8%	R2 で 40.6%	42.5%	◎

耐震化率（施設）			
現状値 (H26)	目標値	R2 実績	評価
6.7%	R2 で 71.1%	73.0%	○

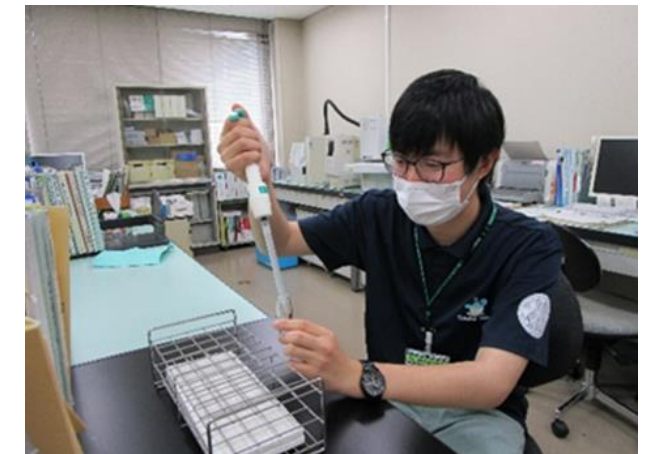


(流出抑制施設)

放流水質の適正維持

浄化センター（下水処理場）では、下水を適切に処理し、水環境の保全に努めています。

放流水質基準超過回数			
現状値 (H26)	目標値	実績	評価
—	毎年度 0 回	5 ヶ年で 3 回	△



(水質検査の様子)

事業場排水が下水道への排除基準に適合しているか、水質を検査している様子です。

温室効果ガスの排出抑制

浄化センターやポンプ場では、電力などのエネルギーを大量に消費しますが、省エネルギー機器の導入などによって、温室効果ガス排出量の削減に努めています。

温室効果ガス排出量			
現状値 (H26)	目標値	R2 実績	評価
55,088 t-CO ₂ /年	R2 で 53,435 t-CO ₂ /年	50,247 t-CO ₂ /年	◎



効率的な経営

汚水処理原価（汚水をきれいにする費用）は、浄化センターの維持管理費の増加などにより、H26 年度実績より高くなっています。経費削減に取り組みながら、効率的な経営を行ってまいります。

経費回収率			
現状値 (H26)	目標値	R2 実績	評価
121.3%	毎年度 100%以上	109.5%	◎

汚水処理原価			
現状値 (H26)	目標値	H28～R2 平均	評価
123.8 円/m ³	H28～R2 平均で現状値より減少	127.4 円/m ³	△

下水道事業サービスの向上

苦情件数は、計画期間中の平均の件数が H26 年度実績よりも減少しました。今後も、苦情要望や本市下水道事業に対するアンケート結果を、お客さまからの大切な声として、今後の下水道事業サービスの向上に反映させてまいります。

苦情件数			
現状値 (H26)	目標値	H28～R2 平均	評価
3,405 件	H28～R2 平均で現状値より減少	3,111 件	◎